

2004年2月20日発行

鵬 鷲

HOSAI

「鵬鷲」鵬は翼の巾3,000里、一飛びで90,000里という伝説上の中国の鳥。そこで鵬（おととり）が飛ぶ（＝はるかなかなたの）空のことを言う。「際限のない」という意味でも使われる。私たち経済開発同友会の目指す活力ある八代づくりも、言わば際限のない努力を必要としますが毎年この機関誌を出す事によって一歩一歩目標に近付きたいものです。その願いを込めて誌名を「鵬鷲」と名付けました。尚、題字は本島小夜子先生にお願い致しました。



八代経済開発同友会
広報誌第5号（通巻第89号）

<http://www.ytnet.or.jp/ykd/>
E-mail:ykd@ya.magma.ne.jp

一日も早い 合併実現を！



代表幹事
上村 憲助

今、八代は大きな転換期を迎えようとしています。来る3月には九州新幹線が開業します。全線開通するまでの8～10年間に、いかに八代らしさを売り込むかが論議されておりますが、その一方では開業効果は3年程度しか続かないとの意見もあります。対応次第で八代の浮沈が決まりますので、全力で取り組まなければならない問題です。しかし、それにも増して、速やかに結論を出さなければならないのが合併問題です。原則的には時間的余裕は、あと1年余しかありません。

同友会では、数年来八代市郡一体となった合併を声高に主張してきました。同友会会員の大半は地場企業の経営者であり、当然まずは八代市郡が営業圏内と

なっています。市部はここ四半世紀、人口の増加こそ見られませんが、ほとんど減少する事なく推移して来ております。それに対して郡部は、残念ながら人口減少に歯止めが掛からない状況が続いています。すなわち、私たちの商圈は、確実に年々縮小しているという事になります。

地域の消長に関しては、私たちの企業活動もその一翼を担っていますので、私たち自身ももっと頑張らなければならないのは勿論の事ではあります。しかし行政が果たさなければならない役割も、同等かそれ以上に大きなものがあると考えます。それが行政に、大胆かつ迅速な改革が求められている所以であり、その方策の一つが私たちが求めている合併でもあります。

八代市郡の合併問題も、二町の離脱や固定資産税の問題などで紆余曲折は見られましたが、最善とは言えぬまでも、前向きに話が進む兆しが見えてきたように思います。

潮谷県知事も来訪 盛大に新年交換会

1月16日、各界の要職の方々をお迎えして、新年交換会が催されました。今回は、潮谷県知事もご出席され、例年以上に盛り上がった交換会となりました。一川副代表から「40周年記念事業ではお世話になりました。」との開会の言葉の後、上村代表から「皆様のお力添えで、記念事業も無事終えました。新幹線の開業効果も3年しか、続かないと言われています。まずこの一年、これを契機として新事業の立ち上げ等八代の経済浮揚のために、企業人としても皆さん取り組んで頂き、同友会もできるだけ支えていきたい。今後、八代市郡の市町村が一体となって大きな力を生むことを祈願している。また、八代で誇れる物は港である。港の開発には同友会として深い関心をもっており、その開発のために出来るだけの努力をしていきたい。皆様のこれまで以上のご協力を賜りたい。」との挨拶があり、さらに各来賓のご挨拶がありました。

概要は次の通りです。

潮谷熊本県知事



「八代の農業も厳しい状況になっており、またその上におうかばまき病の問題も持ち

上がって、県としては補正予算を組んで対応に努力している。

新幹線も3月から開業するが、ストロー現象に成るか、逆ストロー現象に成るかは、今後の対応いかんだろう。それを契機とした南九州一帯となった発展の中で、八代は経済の結節点として重要化してくる。全国に八代をPRするビジネスチャンスとして県も考えている。全国に情報発信されるような交通体系の整備等進めていきたい。今日は、おめでとうございます。」

中島八代市長

「肥薩おれんじ鉄道の開業に伴い、観光誘致のため県南の各地がそれぞれ個性を出して、又協力していかねば成らない。観光施設・スポーツ・工場見学等人を呼ぶやり方をいろいろと考えていきたい。」



また、これからの八代の発展に港湾整備の強化を知事にもお願いしたい。東南アジアに向けて、八代・上海新航便から広めていきたい。」



金子衆議院議員

「新幹線は、福岡―八代間も早期に前倒しに成る様働きかけており、現状より早期開業の見込みがたってきた。その中で、新幹線を利用してどのように発展するか、を八代は考えていかねば成らないだろう。特に、港の問題が重要だ。知事・市長にも、八代の未来を担う港に新しい産業を育成する様、良い計画を早く作ってぶち上げてほしい。明確なビジョンを作れば、国からもお金が出る。」



この後、新役員のお披露目もあり、松木商工会議所副会頭の乾杯の音頭で、懇談が行われました。

最後には、吉武新理事長以下、青年会議所の面々で元気の良い一本締めをされて幕を閉じました。



臨時総会にて、新役員決定！



1月16日18時より、臨時総会が開かれ、次年度も代表幹事をお引き受けに成った上村代表のもとで動かれる第41期新役員が選出されました。新役員は、下記の方々です。

副代表幹事：宍倉 渉 様
同：成尾 敬三 様
同：一川 誠一 様
専務理事：山田 邦彦 様
常任会計幹事：竹永 鴻 様
幹事(委員長)：上原 治 様
幹事(委員長)：松嶋 宏平 様
幹事(委員長)：鋤馬把 祥二 様
幹事(委員長)：吉岡 洋 様
幹事(委員長)：中山 英朗 様
幹事(委員長)：岩橋 恵一 様
幹事：小嶋 日出章 様
幹事：澤井 元生 様
幹事：中村 勝 様
幹事：伊藤 輝充 様
幹事：西田 勝男 様
会計幹事：村岡 賢一 様
会計幹事：吉澤 英明 様

委員長は、それぞれ下記の委員会を担当されますが、次年度は今年度の8つの委員会を見直し、6つの委員会が組織されました。

本年度
総務親睦
次年度
総務親睦(上原委員長)

- ①総会・例会の運営
- ②各種親睦事業の企画運営
- ③会員拡大

広報情報
広報情報(松嶋委員長)

- ①鵬際、メルマガの発行
- ②会員企業のIT化支援
- ③他団体との情報交換

インフラ整備研究
交通問題(鋤馬把委員長)

- ①周辺開発を含めた新幹線・肥薩おれんじ鉄道の研究
- ②八代天草架橋建設促進運動
- ③道路問題の研究

地域文化
観光問題(吉岡委員長)

- ①城跡関係の研究
- ②シティプロモーション研究
- ③観光ボランティアの立ち上げ

コンベンション

産業振興
地域活性化(中山委員長)

- ①エコポートを含む八代港の活用化策
- ②市町村合併に向けた広域経済圏確立化

市町村合併推進

企業経営
企業活性化(岩橋委員長)

- ①PFI、アウトソーシングの研究
- ②商業問題の研究
- ③会員企業への各種セミナー実施